



猫の手を
僕らがカバー
農繁期
正之

わーい テレビゲームよりおもしろいぞー

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第103号 平成17年10月31日

効果の程は？

16年度決算 2p

心配されるアスベスト問題

一般質問 6p

急がれる行革・自立

委員会レポート 11p



県警・カラーガード隊

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738)63-3810 Eメール gikai@town.hidaka.wakayama.jp

9月定例会**平成16年度決算**

最大の効果はあったか？

決算認定



平成17年第3回定例会は9月13日から9月27日までの15日間の会期で開かれた。

今定例会では平成16年度一般会計、特別会計の決算を認定。

また、平成17年度関係、報告1件、同意2件、議案12件が提案され、慎重審議の結果1件を除き、原案のとおり同意可決した。

一般会計歳出決算 49億1,916万円

特別会計歳出決算 28億4,908万円

主な特別会計歳出決算額

簡易水道事業特別会計	2億452万円
国民健康保険特別会計	3億2,093万円
老人保健特別会計	9億2,020万円
下水道事業特別会計	9億6,500万円
介護保険特別会計	4億1,840万円

監査委員の審査・意見

審査の結果

各会計の決算並びにその他の会計帳簿、関係書類を審査したところ、収支命令と符合し、計数は正確であることを認めた。

審査の意見

国の財政事情も厳しいなか、各会計共に行政成果表のとおり広範囲にわたる行政がなされ、効率良く検討の上予算執行され、一定の成果を収めている。

歳入面において、全体的に努力の跡が認められるが、景気低迷の長期化と共に、税、料にも収入未済額の一部に長期化が懸念される。

収入未済額の発生、増加に十分留意し、引き続き最大限の努力を望むものである。

次の事項につき、速やかに措置を講じられたし。

・委託事業について

改善すべき諸点が見受けられた、今後十分検討されたし。

・入札制度について

地元業者の育成を図りながら、競争性の確保と事業効率の向上に努められたい。

・予算執行について

予算は、目的をもって予算計上を行い、執行するものであるが、安易な考えでの予算計上や節内流用が行われていると思われるものが見受けられた。予算計上及び執行には、十分なる注意を払うよう望むものである。

・温泉館について

入館者の減少が懸念される。町民の健康維持推進等を図る目的で設置された施設ではあるが、当初計画の入館者数を目標に、企業感覚を持ち経営努力を望むものである。

16年度決算質疑

一般会計

問 町税の不納欠損については、そうならないような努力はされているのか。

答 未納のお宅へ伺うなど努力をしているが、不納欠損とせざるを得ない件数が増えてきている。

問 保育料等に予算額と調定額に大きな差が出ているが、補正をすべきではないのか。

答 住民課長 今後十分検討する。

問 住宅診断を受け、41戸が危険との中で改修の成果は。

建設課長 ただ単に診断するだけでなく、改修の方向に持って行けるよう努力する。

問 16年度の決算状況によると経常収支比率が約85%から90%に上がってきているがこの比率が高いほど財源に余裕がない。行政改革を進める中で町長の努力目標は。

町長 今後も行政改革を進め、80%ぐらいにもって行けるよう取り組む。

問 平成16年度決算の、審査意見書についてどのように考えているか。

町長 意見書については、真摯に受け止め今後全力を挙げて努力する。

特別会計

簡易水道

問 有収率が88%と昨年度より下がっているがその理由は。

上下水道課長 比井崎地区で見つかりにくい漏水があり、修理までに相当な水量が漏水した。

下水道

問 阿尾比井小浦各処理区の接続率は。 **上下水道課長** 3月末現在、阿尾処理区82%・比井処理区75%・小浦処理区79%です。



競争性の確保は？

17年度補正予算

一般会計

既定の予算総額に4015万6千円を追加し、総額41億5074万4千円とする。

主な内容は、太陽福祉会負担金177万6千円、国保日高総合病院負担金1971万5千円、小規模土地改良事業費700万円、町道秋原荊木線の跨線橋補修事業負担金520万円等。

問 中山間地域事業については、5年間延長となったが、この説明を。

産業課長 農地の荒廃を防ぎ、農業生産の維持と農地の持つ多面的機能を守るため、5年間の延長となった。

新制度についてはその地域ごとに5年間の計画を立て実施する。

問 太陽福祉会の負担金の増額理由。

住民課長 施設整備に係る国、県補助金の減額により旧1市7ヶ町村で差額分を追加負担することとなったため。



太陽福祉会パン工房サンプル

下水道

特別会計

既定の予算総額に7795万3千円を追加し総額7億3729万6千円とする。
主な内容は農業集落排水事業（内原東処理区）の事業費の増額5531万円等。

問 前回も入札に関して各議員より、いろいろと意見があったが、今回のこの入札はどのように考えているのか。
上下水道課長 準指名業者を含め、より競争力を高められるよう指名を考える。

教育委員長退任

船代 和三郎 氏(阿尾)が教育委員長を退任された。



船代 和三郎 氏

9月30日をもって日高町教育委員会教育委員長を退任いたしました。教育委員12年(内教育委員長4年9カ月)大過なく終えましたこと皆様のご指導とご厚情の賜物と厚く御礼申し上げます。

今後は皆様方のご厚情を忘れることなく、残された人生を有意義に過ごしてまいりたいと存じます。

末筆ながら日高町の益々の発展と子供達の学ぶ意欲と先生の熱意を期待してやみません。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、お礼少々退任のご挨拶といたします。

教育委員

糸谷 竝治 氏(産湯)の選任に同意した。



糸谷 竝治 氏

この度、教育委員を拝命いたしました。浅学非才な私ですが、先輩方のご指導をいただきながら、がんばる所存でございますので、よろしくお願いいたします。

監査委員

楠山 周三 氏(荊木)を引き続き選任することに同意した。



楠山 周三 氏

引き続き選任されたことは光栄です。マンネリ化することなく、常に新しい視点に立ち、監査をしていきたいと思っております。

条例制定・一部改正

平成17年度小規模土地改良事業分担金条例

萩原地区で農道舗装500m、谷口地区で樋門1門を施工するため、受益者からそれぞれ事業費の20%、140万円を徴収する。

平成17年度参詣道と水土里のむら機能再生支援事業分担金条例

萩原地区で農道舗装300mを施工するため、受益者から事業費の20%、60万円を徴収する。

問 この事業の説明を。建設課長 平成17年度より始まった県単独事業で、小規模土地改良事業とほぼ同事業だが、補助率が50%であり、1町に1カ所しか申請できない。

平成17年度特殊急傾斜崩壊対策事業分担金条例の一部を改正する条例

阿尾地区で当初計画していた施工箇所および受益者に変更が生じたため、

分調査の上、決定すべきではないのか。建設課長 地元区長からの申し出と、当初計画していた個人の了解の中で、より緊急性を問うと判断し、変更した。問 一旦議会で議決した分担金条例を簡単に変更できるのか。町長 今後はこのようなことのないよう十分検討して取り組む。



みどり 水土里の事業で舗装予定の農道(萩原地区)

未来をきずく

Q & A いっぽん質問

非飛散性アスベストも 改築、改修時には危険

中村 性一 議員

町長 啓発に取り組む



問 議場など4施設以外の公共施設は問題は無かったのか。

町長 問題はなかった。

問 各区の集会場なども調査されたのか。

総務課長 木造については調査していない。

問 早い時期に調査すべきではないのか。

総務課長 調査する。

問 学校でのアスベストを含有する製品を、含有しない製品への取り替えを求めた文部科学省の通知の内容を問う。

教育長 飛散性石綿の取



診断結果を待つ中央公民館

り替えを求めた通知である。

問 昭和62年公立学校に対する、アスベスト対策事業に優先的に国庫補助があったが、比井小学校の改修を国に申請しな

ったのか。

教育長 当時の書類が残って無く、確認できない。

問 石綿水道管対策は、上下水道課長 50m残っているが下水道敷設時にビニール管に更新する。

問 非飛散性の石綿製品であつても切断の際アスベストの粉末を大工さんなどは吸い込んでいるが症状は40年後に出る。高齢になってからの不安が大きい。

町長 保健衛生課が健康相談の窓口になる。

できるのか 耐震改修

問 耐震改修の進捗は。
町長 耐震診断した50戸のうち41戸が改修の補助対象となっている。

数人から相談を受け、指定の建築設計事務所と相談するよう案内した。

問 建物が危険であり、改修が必要であるという診断の詳細は出されているのか。

建設課長 細部までは出されていない。

問 どこを補強すればよいか解らない。

問 国は2020年頃から石綿を使った家の解体がピークになると予測しているが、それまでの改修工事等も危険である。建設業者だけではなく町民にも危険性を周知徹底すべきではないか。

町長 早速担当課で啓発に取り組む。

建設課長 補助を受けるには建築士に再度設計してもらふ必要がある。

問 設計補助金は1円もないのに20万円以上の設計料が必要と聞く。

60万円の改修補助金があつても改修できない家がほとんどになると思うが。

行政側の対応は。

建設課長 危険と診断された家は建設課で把握しているので啓発していく。



天満 滋明 議員

総括園長を設けては

町長 現時点では考えていない

問 保育所においては今後さらなる質の高い保育が求められる。

職場における意識改革やマンネリ化対策、また犯罪、事故、災害時の緊急時における指揮命令の確に遂行することは元より、いろいろな面で男性の総括園長を設けてはどうか。

町長 保育所になにかあれば、すぐ住民課長に連絡が入るようになっており、指揮命令ができるという判断から、男性の総括園長は現時点では考えていない。

問 長年に渡りおなじ人たちがおなじ職場で勤務すれば、閉塞感に陥りやすい変化を求めるとすれば、手だてを講じなければと思うが。

町長 今後も努



みんなで日高町を担うのだ!! (比井保育所)

力して取り組んでいく。

問 夏の暑い日、お昼寝時に3園を回ったが、空調設備のある園と、ない園では園児の様子に明らかな違いが見受けられた。

施設面の均衡を図るとともに、健康面の上でも空調設備の整備を。

町長 保護者からも要望があった。18年度当初予算に計上したいと考えている。

合併第2幕

問 当町に於いては住民の幸せのため単独行政を選択したが、

今また新法による合併問題が迫っている。

町長 県市町村合併推進審議会が枠組みを決定した後、議会に相談したい。

問 自主性は残されていないのか。

町長 基本的には自主性

を尊重すると聞いているが、今回は枠組みは一つになるとのこと。

問 そうすると自分達で選択する余地は無いに等しいと言える。

住民の方と話をすると「単独でやっていけないのなら、もう一度元の枠組みで」との声が多い。住民の方の意向を調査するのも良いと思うが。

町長 枠組みが示された時点で判断したいと思っている。

町の企画財政課

問 企画といえば会社では新製品の商品化などを指し重要な部署である。他社より遅れば即経営に影響してくる。

行政についても町の将来を考えると、同じ事が言えるのではないかと。課長を含め課員が4人そのうち企画専門は1人と聞くが、県からの事務処理等に追われ、本来の企画の意味の仕事ができないのではないか。

町長 一生懸命に取り組んでいる。また忙しかった時は他の課員も協力している。

問 アイデアが出ても財政を考えると「ちよっと待てよ」といった風にはないか。

町長 財政が重要であるので現状で良いと思っ

楠 新一 議員

どうなる2次合併??

町長 県の方角性を待つ



問 県では、年内にも合併しなかった市町村に対して、2次合併に向けた新たな組み合わせを提示し、積極的な推進を図るとのことであるが、町長はどのように考えているか。

町長 その枠組みが出来た時点で、十分考慮して将来のあり方を検討する。

問 今後、このまま単独自立の道を進むのか、県が示す2次合併を考えるのか。

町長 県が示す合併構想ができた時点で、十分検討する。

問 2次合併については、市町村の自主性を尊重するとしながらも、行財政改革への取り組み状況、また将来の見通し、財政的な見通しなど、ヒアリングを行うとあるが、自信をもって日高町を主張出来るのか。

町長 自信をもって、日高町の将来について、意見を主張する。

問 先の由良町との合併

を断念した折、議会や住民の意見も十分に反映されず、一方的に独断されたが、今後2次合併の枠組みを提示された場合、どのような方法で意見を聞かれるのか。

町長 提示された段階で議会と相談し、判断する。

問 今回の衆議院選で、小泉構造内閣が歴史的な大勝に終わり、三位一体改革は更に拍車がかかっているものと考えます。

町長が言われる町民の皆さんが納得してくれる行財政改革は進んでいるのか。

町長 少し遅れているが、その基本どおり行財政改革に取り組んでいるところである。

問 自主財源の乏しい、わが町にとっては、行財政改革にも限界がある。

これからの地方は、その取り組み次第で大きな格差が出てくるものと考えますが、金が無いのであれば、知恵と工夫で取り

組まねばならない。



美浜町役場



日高町役場



御坊市役所



由良町役場



印南町役場

予想される枠組み???

そういった中で、採用されれば景品付きで、色々なアイデアを広く募集してはどうか。

町長 大事なことであり、十分に検討する。

問 産業振興なり、合併

にしる、常に先見の明を

もって、日高町の将来を見据えた、スピーディーな取り組みを。

町長 全力を挙げて取り組む。

問 単独か合併か、またもや先行き不透明の中で、誰もが不安と困惑を

抱いている。今こそ希望のもてる町の将来像を示すべきだと考えるが。

町長 基本的には、住民の幸せが第一であり、皆さんに喜んで頂ける施策を、今後取り組む。



西岡 佳奈子 議員

介護保険・負担軽減を

町長 独自措置は考えていない



ビンゴゲームを楽しむみなさん（ふれあいセンター）

問 10月から介護保険施設を利用する時の食費や居住費が新たに必要になる。また、来年4月以降の介護保険料の値上がりが必要となっている。町独自の軽減措置が必要だ

と思うが。

町長 在宅の利用者との公平性という観点から見直しがされている。低所得者対策で現在より安くなる方もいる。各種福祉制度の利用者

問 住宅改修の利用が償還払いとなっている。限度額まで利用すると、最初に10割分の20万円を支払い、後から9割分、18万円が払い戻されること

になる。

保健衛生課長 償還払いが基本だが、1割分の支払いで利用できる受領委任払いを検討する。

になる。

町長 日高町の将来を考えて話をする。今の段階での答弁は差し控える。

になる。

問 国の低所得者対策には問題がある。保険料についても、基準額の引き上げとともに、高齢者への課税強化によって保険料の段階が上がリ、二重の値上げとなる人が相当数出てくる。独自の軽減を考えるべきでは。

町長 現時点では考えていないが、各市町の動向も見守りたい。

問 新しい制度である地域包括支援センターの設置、運営はどうなるか。

町長 来年4月に設置する方向で、町直営、委託の両方を検討している。

問 支援センター運営協議会が必要だと思うが。

保健衛生課長 10月中旬以降に、介護保険計画策定委員会と同じ構成員で設置したいと考えている。

問 継続的に運営に携わってもらうことになる。人数など、弾力性を持たせ取り組むことが必要ではないか。

保健衛生課長 実際に運営協議に入る中で検討していく。

問 町長が合併する意思があるかどうかを、県に対してはつきり言うことが大事。

昨年決断から1年も経っていない。単独自立の意思表明が当然の流れではないか。

町長 日高町の将来を考えて話をする。今の段階での答弁は差し控える。

新たな合併の意思は

問 8月24日、和歌山県市町村合併推進審議会が開催された。新法に基づくと合併についての考え方は。

町長 県の合併構想が示された時、議会に相談したい。

問 新法に基づく合併の財政的メリットは非常に少ないと思うが。

町長 交付税の算定替え期間の短縮など、旧法に比べメリットは少ない。

下水道事業等での

清水 正巳 議員



個人情報保護条例の運用について

町長 一定の条件を付するとOK

問 日高町では17年4月から、個人情報保護条例が制度化されている。

答 区の代表者が管理組合設立のため、名簿提出を依頼しても、条例を盾にダメとなるなど、制度下での適正な運用なのか極めて疑問に感じる。

もしこれが適正な運用と言っならば、情報の収集段階で誤っているのではないかと。

納得できる説明をお願いしたい。

町長 個人情報は内容の如何を問わず保護すべきだが、過剰に保護しようとした点はある。

管理組合に委託する等一定の条件を付することで可能である。

問 処理場建設の当初の段階で、管理組合設立のお願いは町よりしているはずであるし、公共事業でもある。

だから問題はなかったのではないかと。

総務課長 公共事業であっても開示については、問題があると考える。

問 未加入者へのフオロ一等しないと、将来利用料金に跳ね返ってくる、公益上必要とならば開示しなくては駄目なのではないか。

総務課長 開示された方がどのように感じ取るか計り知れない、十分慎重を期すべきだと思う。

問 今後行革を進めていくと、地区の皆さんに協力をお願いすることが多くなるし、地域のボランティアが、必要になって来ると考えるが。

総務課長 個人情報開示についてはまだ勉強不足な点はある、いろいろなケースを想定して研究したい。

アスベスト問題

問 アスベストが問題になっているが、日高町の過去においても取扱い企業はなかったのか。

町長 日高町には存在しないと聞いている。

問 建築物の調査、解体、廃棄物処理、健康相談、

窓口はどうなっているか。

町長 調査、健康診断は自己責任でお願いしたい。解体はアスベストが含まれている場合、床面積が500㎡で吹きつけ面積が50㎡以上は届けが必要。全体窓口を固定さすのは難しい。



問題の比井小講堂

問 学校については昭和62年に公立学校施設整備事業国庫補助金制度の対象となっていたがなぜ対策を講じなかったのか。

また比井小では講堂が現在使えない為、体育館に行くのが大変不便になっている。早急な対策を

教育長 20年前のことで確認出来ないが、

今後このようなことのないよう努めたい。制度は続いているので、調査結果ができれば検討していきたい。

問 検討委員会を何故非公開にしたのか。

温泉館長 第3回目から公開にした。

温泉館検討委員会の進捗状況は

問 検討委員会を何故非公開にしたのか。

温泉館長 第3回目から公開にした。

問 温泉館長として、今後どう進めたいのか、リーダーシップを取ってもらはないと、今、方向は指定管理者、直営

どちら向いているのか。

温泉館長 メリット、デメリットがあり結論はまだ出ていない。11月をメドに最終報告をお願いしている。

行 特 財 政 改 革 委 員 会

長野県
原村



ケーブルテレビスタジオ(長野県原村役場)

単独(自立)を選択した
たわが町は、数年後に大
きな転換期を迎える。
遅れを取り戻すために
も、先駆者となるため
も、議会も行政改革特
別委員会を設置した。

その後、勉強会・講演
会・視察等を重ねている。
全国の市町村の行革へ
の取り組み方には極端な
差はない。
そのことを踏まえて視
察報告をおこなう。

長野県原村では、一般
会計を15年間かけて約40
億円から30億円にするこ
とを目標としている。

人件費では15年かけて
100人から80人(2人
退職で1人補充)にし、
約2億円を削減する見込
み。

行革についての庁内組
織や審議会を立ち上げ、
各課からヒアリングを行
うなどしながら、総論で
ある大綱、各論である行
革プログラムを作成して
いる。

平成19年度には、単年
度で1億1800万円程
度の削減、その後も人件
費等を含め削減していく
となっている。

大きく3つの項目「事
務の改革と整理、合理
化」、「住民協働による事
業改革と合理化」、「組織
機構等の改革、職員の定
数管理と給与等の改革」
に分け、取り組まれてい

る。

公営施設の管理や調理
業務の委託、電算処理委
託先の見直し等、各種補
助金の削減、職員数の減
や課の再編、統合などが
挙げられている。

行革プログラム以外で
は、議会の定数削減、議
員報酬の削減。

特別職の関係では、収
入役の廃止、報酬の引き
下げなど行われている。

但し、自立する村でも
活力と特徴を決して失つ
てはいけないという考え
から、65歳以上高齢者の
医療費や小学校3年生ま
での乳幼児医療費無料制
度、世帯主が高額医療対
象となった場合の医療費
負担の軽減など、村独自
の制度は存続する考えで
あった。

村づくりについて、行
政自らが襟を正し、意識
改革をした中で、行革を
行うとともに、住民参加
で夢のある村づくり、行
政と住民が両輪となる村
づくりを進めたいと言っ
ことであった。

行革の手法は様々ある
が日高町民として誇りに
思えるような町づくりを
していけるよう提案して
いくつもりである。

他の視察先

長野県 喬木村 たかぎ

泰阜村 やすおか

鳥取県 若桜町 わかさ



行革先進地のノウハウを聴く(鳥取県若桜町)

小遣い稼ぎをやってみい!

産業建設常任委員会

8月2日、愛媛県内子町の株式会社内子フレッシュから「ク」から「リ」で視察をおこなった。

平成6年に特産物直売所の実験施設「内の子市場」を開設。

この市場の第1号の会員であり、観光力リスマとしても活躍している野田文字さんから、成功の秘訣や現在の取組状況などについて説明を聞いた。

専業農家の野田さんは、夫から「空いている畑で、何でも良いから小遣い稼ぎをやってみい。」と言われ、自分の力で農産物を作って売り始めたのがきっかけで、農業には自分の知らなかった楽しさと夢があることを実感した。

この施設は4〜5坪の小さなもので、当初74人の会員でスタートしたが、現在400人余り、特に

女性と高齢者が7〜8割を占めている。内子に住んでる者が内子の物しか出さない、それぞれがヒット商品を生み出すべく努力をしている。

平成8年には、新たに直売所ができ、全体で16億円、このうち町が起債も含め、10億円余りを出している。

運営は第3セクター方式で、平成9年4月、2千万円出資金でスタートしたが、平成12年に2千万円、平成16年11月に1800万円増資している。これは、町民を対象に1人1株で公募したもので、現在430人が出資しており、今期初めて配当ができた。



大きくなった直売所(からり)

の年間売りの

上げは、6億2千万円。うち産品直売所の売り上げが4億5千万円で、農家の平均売り上げが110万円。

また、1千万円以上売り上げる農家も3人くらい出ている。

なお、来客数は年間約70万人、地元1割、松山4割、県外1割、残りは近隣町村、リピーターが約7割と、この施設の大きな特徴となっている。

小さな村でも地球の一部

総務文厚常任委員会

8月22日、23日、長野県原村、喬木村において環境問題についての視察研修をおこなった。

原村では今年度、環境の保全と創出に向けて、「新エネルギービジョン策定事業」に取り組みされている。

「小さな村ではあるが、紛れもなく地球の一部である」との考え方のもと、地域に眠る自然エネルギーの有効利用を考え、開発、活用することにより、地球規模の環境問題である温暖化防止に貢献するだけでなく、地域内の安定したエネルギー供給も可能になるといことから、ビジョン策定に取り組みされている。

以前から「食用廃油を燃料にする会」があり、廃油を精製して軽油の代替燃料としてディーゼル

車を走らせようという取り組みがされていた。廃油を利用することで、ゴミとしての排出が減り排ガスによる大気への影響を抑えるなど環境にやさしい燃料といわれている。

廃油の回収や、デモ的に公用車を廃油燃料で走らせるなどの取り組みが今回のビジョン策定につながっていると



喬木村役場内にて

編集後記

風力発電計画が実現出来るよう官民あげて取り組もう。

紀伊半島にクリーンエネルギー基地誕生!

「環境に優しい町・クリーンな町」で一躍脚光を浴びる!もしかして夢でないかもしれない。

起死回生の一発逆転打にならないか、私には合併問題に次ぐ課題事である。

日高町が数年後、大变身できるかも?

滋明

喬木村では、住宅用太陽光発電設置に対して補助金が出されている。地球環境への負荷の少ない10kwあたり3万円、限度額

太陽がもつクリーンエネルギーの有効利用の普及を促進し、地球温暖化対策に資するための事業である。設置に対して、1